

目次	最近の話題◆県内のPM2.5濃度が上昇しました	1
	トピックス◆麻しんに注意しましょう	2
	◆地方衛生研究所を知っていますか？	3
	お知らせ◆学習・交流イベントのご案内/山と自然のサイエンスカフェ@信州 開催報告	
	公式YouTubeチャンネル開設のお知らせ	4

### 最近の話題

## 県内のPM2.5濃度が上昇しました

### PM2.5とは？

「PM2.5」とは、大気中に浮遊する2.5 $\mu\text{m}$ （1 $\mu\text{m}$ は1mmの千分の1）以下の小さな粒子のことです。平成21年に環境基準が制定され、県内では現在16ヶ所の測定局で常時監視を行っています。今回は、令和7年3月に見られたPM2.5の上昇事例を紹介します。

### 濃度上昇の状況は？

3月24日から28日までのPM2.5の濃度変化を図1に示しました。24日は20 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 前後と通常より高く、25日には黄砂の影響で更に濃度が上昇しましたが、県内全ての測定局で30 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 未満でした。一方26日は中南信を中心に大きく上昇し、環境基準の1日平均値35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超え、飯田局で最大値53 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ でした。

この3月26日のPM2.5の濃度変化を図2に示しました。午前8時頃から全ての測定局で急激に上昇し始め、長野、上田・佐久、松本の各地域では、概ね10時前後に最大値に達し、13時頃に元の値付近まで下がりました。一方、諏訪、木曾、伊那、飯田の各地域では、南に位置する測定局ほど長時間上昇し、数値の下降も遅い状況でした。濃度は、東北信の100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下に対し、中南信は120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超え、木曾局では

最大値185 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ に達しました。近年全国的に濃度低下傾向のなか、極めて異例の高濃度となりました。

### 周辺地域の状況は？

国立環境研究所そらまめ君ギャラリーのPM2.5全国分布図をみると、3月26日の8時から10時にかけて、70 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以上の測定局が、愛知県から長野県・山梨県に及ぶひと続きの範囲として湧き出すように現れ、その後徐々に南東方向に移動していました。16時には愛知県から静岡県を通過して神奈川県に及ぶ太平洋沿岸の範囲となり、このPM2.5高濃度気塊の出現、移動に伴い今回の事例が発生したことがわかりました。

### 原因は？ 今後は？

今回のPM2.5高濃度の原因として、前日から当日にかけて全国的に観測された黄砂に加え、当時、韓国で発生していた大規模な山火事の影響が指摘されており、黄砂と山火事が同時に影響したことが推測されます。当所としては、周辺自治体等と連携して本事例の発生状況および原因の解明に今後も取り組み、同様な事例が発生した際の対応に役立ててまいります。

(中込 kanken-taiki@pref.nagano.lg.jp)

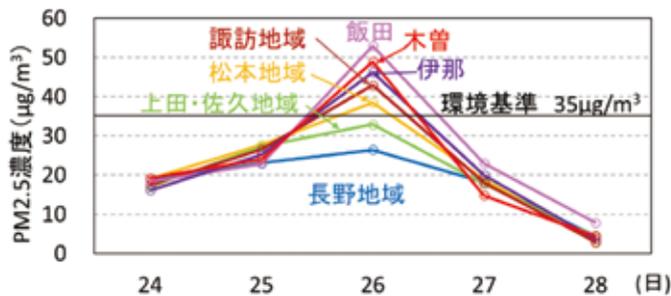


図1 PM2.5日平均値の変化\*

\* 長野、上田・佐久、松本、諏訪地域は各地域内の平均値を使用

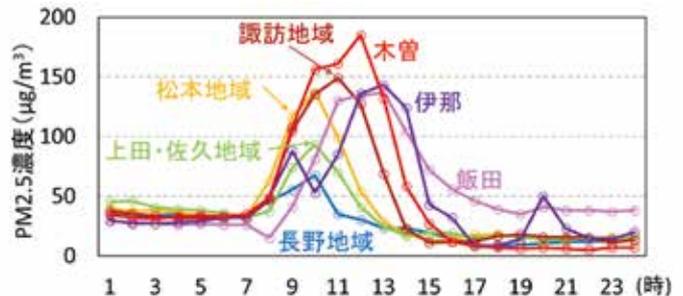


図2 3月26日のPM2.5 1時間値の変化\*

\* 長野、上田・佐久、松本、諏訪地域は各地域内の平均値を使用



発行 長野県環境保全研究所 令和7年(2025年)7月28日

安茂里庁舎 〒380-0944 長野市安茂里米村1978 TEL.026-227-0354 FAX.026-224-3415  
 飯綱庁舎 〒381-0075 長野市北郷2054-120 TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/index.html> E-mail : kanken@pref.nagano.lg.jp

## トピックス

## 麻疹に注意しましょう

## ◆ 麻疹（いわゆる「はしか」）とはどんな病気？

麻疹は、高熱、全身の発疹、咳、鼻水、結膜炎を主症状とする、麻疹ウイルスによっておこる急性感染症です。肺炎や脳炎などの合併症を起し、死亡することもあります。感染力はきわめて強く、空気感染、飛沫感染や接触感染などにより、人から人へ感染します。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症するといわれています<sup>1)</sup>。

## ◆ 日本ではどのくらい発生しているの？

平成19年（2007年）、10～20代を中心に麻疹が大流行したことを受け、国は麻疹の排除を目標に、ワクチンの追加接種や発生時の迅速な対応等の対策を実施しました。その成果もあり、日本は、平成27年（2015年）に世界保健機構（WHO）より麻疹排除状態の認定を受けました。そのため、近年の国内での麻疹の発生は、訪日外国人や海外渡航者による海外からの持ち込みが多い状況でした<sup>2)</sup>。令和2年（2020年）以降は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行による往来制限の影響等から、麻疹の届出数は減少していました（図）。

しかし、令和5年（2023年）以降は届出数が増えており、令和7年（2025年）の5月4日時点での届出数は106例（長野県1例）と、すでに昨年の年間届出数45例（長野県0例）を上回っています。現在、海外で麻疹患者が増加しているため、今後国内でもさらに麻疹患者が増加することが懸念されます<sup>2)</sup>。

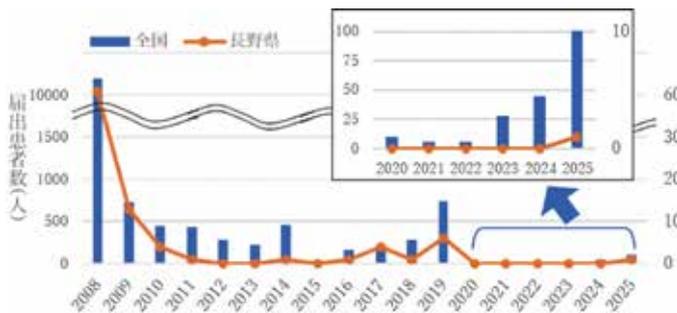


図 麻疹患者届出状況（2025年は5月4日（第18週）現在）  
（国立感染症研究所 / 長野県健康福祉部 感染症発生動向調査から）



## ◆ 当所で行う麻疹の検査について

麻疹患者（疑い例含む）が発生した場合、保健所は発生状況を把握するため疫学調査を行います。当所では麻疹ウイルスの遺伝子検査を行い、麻疹の確実な診断に繋がります。麻疹ウイルス遺伝子が検出された場合は遺伝子型別検査等を行い、その結果は感染経路の推定や地域での流行状況の把握等、感染対策に役立てられます。

また、毎年県民の皆様にご協力いただき、麻疹ウイルスに対する抗体保有率の調査をしています。令和6年（2024年）度の抗体保有率は77.0%で、前年度（79.3%）を下回りました。年齢群別では、40歳以上の群は96.5%と高い保有率でしたが、それと比べて40歳未満の年齢群では低い傾向が見られました<sup>3)</sup>。

## ◆ 麻疹を予防し、感染拡大を防ぐために

ワクチン接種により麻疹に対する免疫をあらかじめ獲得しておくことが大切です。定期予防接種対象の方は、早めにワクチン接種を行いましょう。また、麻疹にかかったことがなく、ワクチン接種歴が不明な方は、接種歴の確認や医療機関への相談をおすすめします。

（二本松 kanken-kansen@pref.nagano.lg.jp）

## 参考文献

- 厚生労働省、「麻疹について」：  
[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html)
- 国立感染症研究所、「麻疹の発生に関するリスクアセスメント（2025年第一版）（2025年4月1日時点）」
- 長野県環境保全研究所、「令和6年度感染症流行予測調査事業」解析結果

## 地方衛生研究所を知っていますか？

### ◆ 地方衛生研究所とは？

地方衛生研究所は、地域住民の健康と生活の安全を守るために、感染症・食品等の試験・検査や、公衆衛生に関する情報の収集・解析・提供のほか、調査研究、研修指導を行う機関です。長野県では環境保全研究所がその役割を担っています。



令和5年（2023年）4月に地域保健法が改正され、地方自治体における地方衛生研究所等の設置が法制化されました。これに伴い、人員や設備等の体制の充実や関係機関との連携の強化が求められています。

### ◆ 地方衛生研究所全国協議会とは？

地方衛生研究所全国協議会は、各都道府県や政令市等を合わせて全国に84カ所ある地方衛生研究所の連携を強化し、人々の健康と生活の安全を守ることを目的とした組織です。協議会は地区別に6つの支部があり、長野県は関東甲信静支部に属しています。関東甲信静支部は10の都県と17の特別区、政令市及び中核市の地方衛生研究所で構成されています。また、協議会には調査研究のため、4つの部会が設置されています。その部会の一つに、食品検査等に関わる理化学研究部会があり、令和6年（2024年）度は長野県が関東甲信静支部の事務局を担当しました。協議会では定期的に全国会議、支部会議、各部研究会等を開催しています。



### ◆ 支部理化学研究部会総会・研究会の開催

令和7年（2025年）2月7日、長野市のTOiGO WEST 長野市生涯学習センターにおいて、令和6年度地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静支部 第37回理化学研究部会総会・研究会が、27機関111名の参加により開催されました。

研究会では、自然毒研究会を兼ねた特別講演として、国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部長の花尻（木倉）瑠理先生による「大麻とカンナビノイド」と題したご講演をいただきました。令和6年12月及び令和7年3月に施行された大麻取締法の改正により、将来的に大麻草の成分分析が想定されるなか、大麻草の分析における留意点などをお話いただきました。

特別講演後、食品分科会、環境・薬事・家庭用品分科会の2分科会において各5題ずつ、計10題の研究発表がありました。活発な質疑応答や情報交換が行われ、大変有意義な研究会となりました。また、研究部会後に開催された情報交換会でも、和やかな雰囲気の中で有用な情報や意見の交換が行われました。他県等の地方衛生研究所職員と直接交流する機会は少ないため、日ごろの業務や検査などの課題等について話すことができ、貴重な機会となりました。

今回開催した研究会・情報交換会を踏まえ、他県等の地方衛生研究所とのつながりを大切に日々の業務を行ってまいります。

（竹澤 kanken-shokuhin@pref.nagano.lg.jp）



写真 特別講演

## お知らせ

## 令和7年(2025年)度 学習・交流イベントのご案内

長野県環境保全研究所は、多くの県民の皆様には研究所の取組や研究成果等を知っていただくために、学習・交流イベントを毎年開催しています。今年度の8月以降の予定は以下のとおりです。

最新の詳細な情報は当研究所ホームページの「学習交流事業」(以下のURL)からご確認ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/jisseki/koza/theme/gakusyukoryu2025.html>

イベント名	日時	場所
自然ふれあい講座 「みんなで温暖化ウオッチ ～セミのぬげがらを探せ!」	第1回 8月 1日(金) 10:00~12:00	市立大町山岳博物館(大町市)
	第2回 8月 3日(日) 9:00~11:00	かざこし子どもの森公園(飯田市)
	第3回 8月 4日(月) 9:00~11:00	アルプス公園(松本市)
	第4回 8月 5日(火) 10:00~12:00	鳩吹公園(伊那市)
	第5回 8月 6日(水) 10:00~12:00	市民の森公園(上田市)
	第6回 8月 7日(木) 9:00~11:00	川中島古戦場史跡公園(長野市)
信州自然講座 「開田高原の生物多様性と人の暮らし」(仮)	11月15日(土) 13:00~16:00	木曾町文化交流センター 多目的ホール(木曾町)
第2回 山と自然のサイエンスカフェ@信州	2月予定 17:30~19:00	オンライン開催予定

開催  
しました

## 山と自然のサイエンスカフェ@信州

## 第1回 「信州の高山植物:その多様性を知る・守る」

令和7年6月27日(金) 17:30~19:00

信州の山々は、高山植物に恵まれた場所です。その多様性の秘密と高山植物を守る取組についてお話ししました。

会場: くらしふと信州

開設  
しました長野県環境保全研究所  
公式YouTubeチャンネルが  
できました!

このたび長野県環境保全研究所公式 YouTube チャンネルを開設しました。研究所の業務紹介動画のほか、イベント情報も公開しています。ぜひご覧ください。

チャンネル登録もよろしくお祈いします。

<https://www.youtube.com/channel/UCBzb5KlePO9mxWStA25XzIA>



長野県PRキャラクター  
「アルクマ」  
©長野県アルクマ

長野県環境保全研究所  
公式 YouTube チャンネル



## 編集後記

〇83号をお届けします。今年もさまざまなイベントを開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

〇本誌は当研究所の活動や、長野県の環境保全及び保健衛生に関する情報をわかりやすく提供することを目的に発行しています。お気づきのことがありましたら、お気軽にご連絡ください。

(編集担当: 企画総務部 Email:kanken@pref.nagano.lg.jp / 電話: 026-227-0354)

## 次号の予告

84号(11月発行予定)では、食品・生活衛生部の取組などを取り上げます。